

ASAHI BOND

JIS A 6024 「建築補修用注入エポキシ樹脂」硬質形高粘度形 適合品

アサヒボンド576

アサヒボンド576は、グリス状タイプの注入エポキシ樹脂のパイオニアとして現在まで多くの実績を積んできました。モルタル・タイル・石材等の浮き補修や、コンクリートのひび割れ補修等、揺変性を活かした注入・充填接着に最適です。また、硬化状況が確認しづらい注入工事に対して、より一層の安心感を持って頂ける工夫がされています。

持 長

1. 優れた接着力 コンクリート・モルタル・鋼材等に優れた接着力を発揮します。
2. 高 強 度 機械的強度が大きい。
3. 揺 変 性 見かけ粘度は高いが、狭い間隙にも充填し易くダレ止まりが良い。
4. 無 収 縮 硬化時の収縮が殆どありません。
5. 施工管理が容易 主剤と硬化剤の色が補色となっているので、計量・混練が適切であったかが目で確認できます。



用 途

1. モルタル・タイル・石材等仕上げ材の浮き補修
2. 裏面シールのできないひび割れ補修
3. コンクリート構造物の間隙充填やジャンカ補修
4. コンクリートと異種材料との接着
5. ひび割れ注入時のシール、自動式低圧注入器の取付け

■ 性 状

品名 項目	576R (一般用)		576W (冬用)	
	主 剤	硬化剤	主 剤	硬化剤
外 観	エマルド [®] グリーン色グリース状	ピンク色グリース状	エマルド [®] グリーン色グリース状	ピンク色グリース状
	混合物：グレー色グリース状		混合物：グレー色グリース状	
主 成 分	エポキシ樹脂	変性 ポリアミドアミン	エポキシ樹脂	変性 ポリアミドアミン
比 重	1.18	1.05	1.18	1.05
	混合物:1.15		混合物:1.15	
配 合 比	主剤：硬化剤＝2：1（質量比）		主剤：硬化剤＝2：1（質量比）	
可使時間	約50分（20° C、500 g）		約30分（20° C、500 g）	

■ 性 能

JIS A 6024（建築補修用注入エポキシ樹脂）による品質試験

試験項目		試験条件	576R	576W	JIS品質規定
粘性	スランプ性 (mm)	15±2°C	—	0.5以下	5 以下
		30±2°C	0.5以下	—	5 以下
接着強さ (N/mm ²)	特殊条件	標準条件	9.9	8.9	6.0以上
		低温時	—	10.0	3.0以上
		湿潤時	6.1	6.2	3.0以上
		乾湿繰返し時	4.6	6.0	3.0以上
硬化収縮率 (%)		標準条件	1.9	2.5	3 以下
加熱変化	質量変化率 (%)	—	2.0	2.8	5 以下
	体積変化率 (%)	—	1.8	2.7	5 以下
引張強さ (N/mm ²)		標準条件	54.4	46.5	15.0以上
引張破壊伸び (%)		標準条件	2.7	1.5	10 以下
圧縮強さ (N/mm ²)		標準条件	85.6	111.7	50 以上

■ アンカーピン引抜き耐力

モルタル等仕上げ材の浮きを補修する際、ステンレスアンカーピンによる補強が行われます。

躯体及びモルタルに対するアンカー効果は以下の通りです。

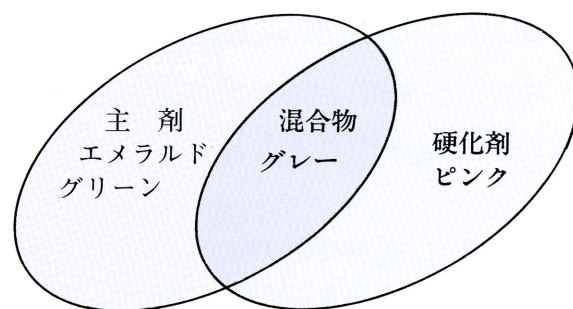
	圧縮強度	ピンの径	埋め込み深さ	材 令	引抜き耐力 N			
	N/mm ²	(mm)	(mm)	(日)	1	2	3	平均
コンクリート	17.7	4	30	14	6860	6570	4900	6110
モルタル	44.1	4	15	3	3680	4110	3630	3807
		4	25	3	6670	6490	6520	6560

※上記数値は実験室内で取ったデータなので、現場では数値の低減・バラつきが起こることが考えられます。また、引抜き耐力は母材の剪断強度にほぼ比例します。

■ 注入材の色について

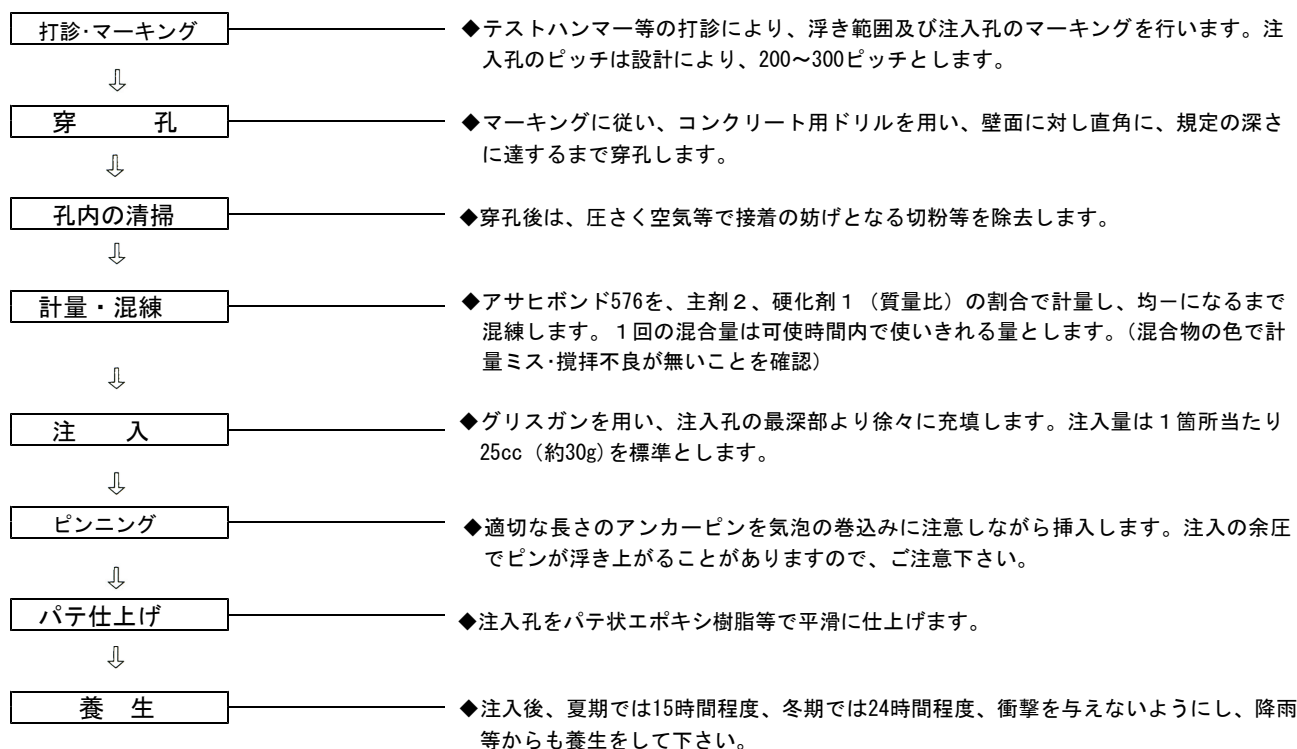
アサヒボンド576は、施工中に万一攪拌不良や計量ミスがあった場合でも容易に発見できるように、主剤をエメラルドグリーン、硬化剤をピンク色に着色しています。この2つの色は補色の関係にあり、主剤・硬化剤が適的な配合比で計量され、十分に攪拌されていると、互いの色を打ち消し合い、グレー色になります。配合比を間違えると余分に入れた方の色に偏ります。

浮き補修工事は、仕上げ材の落下防止を目的としている性格上、特に施工精度が問われます。注入材は硬化状態の確認が難しいので、「良く管理された施工が行われている」ということが、注入補修工事に対してより一層の信頼感を生むものと考えます。



■ 使用方法（代表的な工法）

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法施工手順



■ 使用上の注意

- ◆一般用と冬用の使用区分は、原則として右表の通りです。

	使用温度の目安	使用時期の目安
一般用	10~35° C	3月~11月
冬 用	5~15° C	11月~ 3月

- ◆材料は、直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
- ◆器具・衣服等に付着した場合は、未硬化のうちに溶剤を含ませたウエスで拭き取って下さい。
- ◆低温時（5℃未満）や雨天（屋外施工時）に施工する場合は、硬化不良や接着不良の原因になりやすいので、施工の際は充分ご留意下さい。
- ◆皮ふに直接触れたり、蒸気を吸い込むと、体質により皮ふ障害を起こす場合がありますので、以下の点に注意してご使用下さい。
 - ・コンクリート槽のように換気の悪い作業環境の場合は、強制換気装置をご使用下さい。
 - ・施工中は必ず保護手袋を着用して下さい。
 - ・皮ふに直接触れた場合は、直ちに中性石けんで洗い落として下さい。
 - ・眼に入った場合は、大量の流水で洗い流し、直ちに医師の診察を受けて下さい。

■ 梱包容量

6 kgセット (主剤 4 kg 硬化剤 2 kg) 1箱2セット入り



アサヒボンド工業株式会社

〒173-0031 東京都板橋区大谷口北町3-7
TEL (03) 3972-4929 FAX (03) 3972-4856